**第４学年１組　社会科学習指導案**

**１　小単元名** 井沢弥惣兵衛と見沼の開発　～見沼代用水の工事～

**２　本時の学習目標**

1. 目標

　〇見沼代用水を引く計画をする中で、井沢弥惣兵衛の働きや工夫について当時の状況を踏まえながら考察し、表現することができる。

（思考・判断・表現）

1. 評価規準

|  |
| --- |
| ア　社会的な思考・判断・表現 |
| 1. 井沢弥惣兵衛の働きや工夫について、当時の状況を踏まえながら考察し、表現している。
 |

1. 展開（〇は支援の工夫、　　　は評価を表す）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 評価と支援の工夫 | 資料・準備 | 時間 |
| １前時のふりかえりをする。【全体】２本時のめあて（仮）を確認する。井沢弥惣兵衛になったつもりで見沼代用水を引く計画を立てよう。３当時の状況を理解する。【全体】４本時のめあてを再確認する。【全体】５当時の状況を踏まえ、ノートに計画を書く。【班活動】６案を発表する。【個人】７本時のまとめと次回の展望を行う。【全体】 | ・前時の内容《前時の学習で出た主な課題》・見沼代用水はなぜ利根川から水を引いているのだろう。・見沼代用水はなぜ二手にわかれているのだろうか。・見沼代用水はどのような道具を使って水を引いたのだろう。・本時のめあて（仮）の設定・当時の状況の確認・本時のめあての設定井沢弥惣兵衛になったつもりで見沼代用水を引く計画を立てよう。そのために、まずは村の人たちに自分の案を受け入れてもらおう。・井沢弥惣兵衛の工夫・井沢弥惣兵衛の工夫・本時のまとめと次回の展望 | 〇前時の学習で児童らが考えた新たな課題を再度発表してもらい、本時の課題につなげる。〇本時のめあてを途中まで書く。〇児童らにはまだノートに書かないように伝える。〇村の人たちの願いや見沼代用水に対する考えがどのようであったか問いかける。・村の人たちの願い→「水の心配をせずに米をたくさんとれるようになることを願っていました。」・見沼代用水に対する考え→「井沢弥惣兵衛たちから見沼代用水を引く計画を知らされると、ため井を使っていた下流の村の人たちは、計画に反対しました。」〇教師は当時の状況と児童らが考えた新たな課題を黒板にまとめる。〇本時のめあてをノートに書くように促す。〇村の人役の教師が井沢弥惣兵衛役の児童らに質問しているという状況であることを伝える。〇「見沼代用水はなぜ利根川から水を引いているのだろう。」を話し合うように促す。〇四人グループで話し合いができるようにする。〇村の人たちに納得してもらえるような理由を話し合って導き出せるようにする〇話し合って導き出した結果をそれぞれのノートに書くように促す。〇案の発表にむけて、良い発想をしている児童を確認しておく。《手だて》・井沢弥惣兵衛の働きや工夫について、当時の状況を踏まえながら考察し、表現することができている児童には、周囲の友達の支援をするように促すとともに、井沢弥惣兵衛の働きや工夫が村の人々にどのような影響を与えたのかを考察するように促す。・井沢弥惣兵衛の働きや工夫について、当時の状況を踏まえながら考察し、表現することができていない児童には、教師が個別に当時の状況を確認し、どの資料と照らし合わせれば案を捻出できそうか助言する。ア①　井沢弥惣兵衛の働きや工夫について、当時の状況を踏まえながら考察し、表現している。（社会的な思考・判断・表現）〇児童らの案は要約したり箇条書き形式をとったりしながら板書でまとめるようにする。〇本時のまとめをノートに書くように伝える。井沢弥惣兵衛は、水量の多い利根川から水を引くことで、村の人たちの願いや思いをかなえようとした。〇児童らの案について総括を述べ、次時では残された課題について考察することを伝える。 | ・副読本「さいたま市」p.144L9~11・副読本「さいたま市」p.145L1~4・副読本「さいたま市」　pp.134~135pp.146~147・立体地図・資料「埼玉県の土地のようす（県全図）」 | ５２５３１５１０５ |

３　備考　在籍児童数　３５名

４　板書計画

・見沼代用水はなぜ利根川から水を引いているのだろう。

・見沼代用水はなぜ二手にわかれているのだろうか。

井沢弥惣兵衛になったつもりで見沼代用水を引く計画を立てよう。そのために、まずは村の人たちに自分の案を受け入れてもらおう。

反対

《児童らの案》

なぜ利根川から水を引くのですか？

井沢弥惣兵衛は、水量の多い利根川から水を引くことで、村の人たちの願いや思いをかなえようとした。